

## 【二次抄録】 (第8回日本禁煙科学学会学術総会 優秀演題賞受賞)

## 中学生を対象とした、プリントと音声による 受動喫煙防止教育の改善点について

鈴木修一<sup>1)</sup>

学校での禁煙教育は、教員または外部講師が教室や体育館で教科書やスライドを用いて実施するのが一般的である。医療従事者が講師を務める場合は、医療現場での経験や専門知識に基づいた情報提供を行いやすい一方で、現場を離れるために他のスタッフに負担が生じる可能性があり、頻回には実施しづらい現状がある。また、学校も行事などの都合で時間確保が困難なことも多い。

当院小児科では、環境再生保全機構委託研究で中学生と連携し、気管支喘息の増悪予防に関する取り組みを継続してきた。平成21年度からは、受動喫煙防止教育を新たなテーマとして介入研究を実施することになった。四街道市内中学校では毎朝10分間が読書の時間となっている。この時間を受動喫煙防止教育にあてていただくこととした。

平成22年10月より四街道市内中学校5校のうち2校において、各回1テーマ、月に2回のペースで合計10回の受動

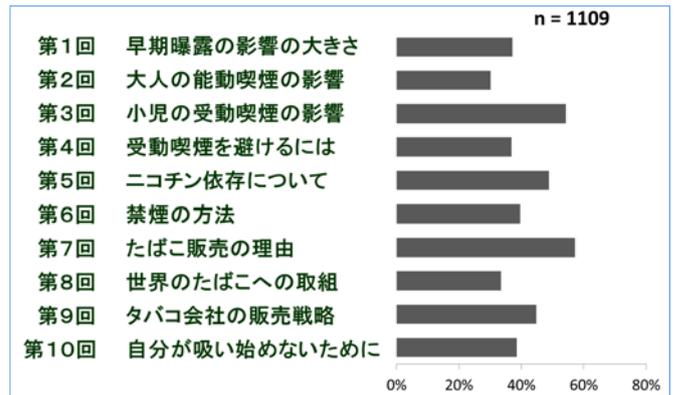


図2 受動喫煙防止教育(2010年) 印象に残ったテーマ

喫煙防止教育を実施した。毎回、はじめの5分間で学習用プリントについての説明音声を全校放送し、残りの5分間で簡単な問題・感想・疑問を用紙に記入し提出してもらった。翌年2月までに全10回を終了した(図1)。主に、3つの成果が得られた。

(1)生徒たちが最も興味があり、かつ印象に残ったテーマは、「タバコはなぜ売られているのか」であった(図2)。しかし、事後調査よりその理解度には懸念が生じた。

(2)毎回の問題の平均正答率は80%以上であり、教育内容は十分理解可能なレベルと考えられた。

(3)介入した2校の生徒のうち、喫煙する家族がいる生徒の尿コチニン値が統計学的に有意に低下した。また、喫煙する家族のいない生徒では、タバコの煙をより気にするようになった。

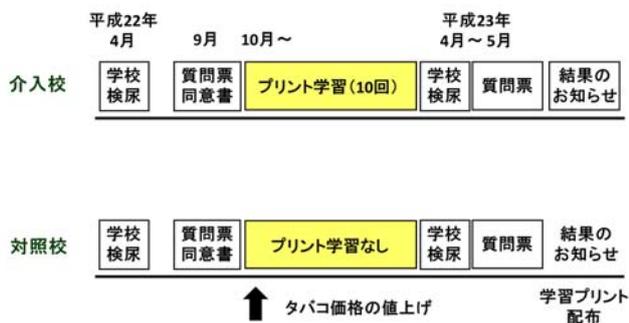


図1 受動喫煙防止教育(2010年)

1) 国立病院機構 下志津病院 小児科

責任者連絡先: 鈴木修一

国立病院機構 下志津病院 小児科  
千葉県四街道市鹿渡934-5 (〒284-0003)  
Tel: 043-422-2511 Fax: 043-421-3007  
Email: seeyou@msj.biglobe.ne.jp

これらの変化は、対照校の3校ではみられなかった。しかし、介入開始時期がタバコ価格値上げと重なったため、これらの変化が介入のみによって得られたものではない可能性を排除できないという課題が残った。

平成25年度より、残りの3校を対象として再度受動喫煙防止教育を実施することになった。校長には、事前に前回作成した学習プリントの冊子を紹介し、了解を得た。今回は、実施方法の改善を試みた。

(1) 学習プリントの内容や説明原稿については、前回は締め切り直前に作成し各校に送り届けていた。今回は、介入校の校長や養護教諭、当科のスタッフに目を通していただくことにした。

(2) 説明原稿の録音については、前回は演者が行っていた。音声は女性の方が好ましいのではないかという養護教諭の意見から、今回は各回異なる小児科病棟看護師が主に担当することにした。

(3) 学習状況の確認については、10回目のプリント学習終了時に生徒にアンケートで確認していた。今回は、毎回学級担任に報告していただくことにした。

この結果、学習プリントや説明音声について、よりわかりやすい表現に改める機会が増えた。また、多くのスタッフが教材作成に関わることによって、スタッフが以前よりも禁煙に関心を寄せるようになってきた。音声は女性になったことについての評価は難しいが、学級担任からは音声はよく聞こえており、静かに取り組んでいるとの報告が大半を占めた。

一方で、当然ではあるが、演者が当初意図した内容とは異なる面が生じた。介入前後に生徒から回答を得る予定であった「タバコについての14の質問」のうち4つの質問は、校長より「喫煙者への配慮を欠く」として削除された。すでに4校では介入前の質問は回収済みであったが、次年度は全ての学校で10の質問で実施することになった。この質問票は、タバコに対する意識や行動を測定する妥当性について十分に検証された標準的な質問票ではないため、協力を得るためには、たとえ一部からの意見であっても従わざるを得なかった(図3・図4)。

また、説明音声の内容が大きく変わってしまうことがあった。第3回の受動喫煙の影響において、プリントの説

1. 赤ちゃんや子どもへのタバコの煙の影響の大きさは、大人とあまり変わらない
2. タバコを吸い続けても、元気なまま長生きできる人は多い
3. 妊娠中の女性が、他の人の吸ったタバコの煙を、少し吸うのは気にしなくてもよい
4. タバコのおいしさのするところには、なるべく、いないようにする
5. タバコを吸っている人がいたら、なるべく、そばを通ったり近づいたりしないようにする
6. タバコはマナーを守って吸うものではなく、まったく吸わない方がよいものだ
7. タバコを自分で1本吸うのは、怖い
8. 身近にタバコを吸う人がいたら、禁煙の手助けをしたい
9. タバコを吸うように誘われたら、断れるどうか、自信がない
10. 一流の選手になりたいなら、タバコを吸わないのはあたりまえだ

図3 タバコについての質問(各4択)

5. レストランや食堂に入るなら、なるべく、喫煙席のないお店を選ぶようにする  
①かならずそうする ②よくそうする ③あまりそうしない ④ぜんぜんそうしない
10. タバコを買って吸う人が増えると、国全体としては、結局より多くのお金を失うことになる  
①すごくそう思う ②かなりそう思う ③あまりそう思わない ④ぜんぜんそう思わない
11. タバコ会社の広告や宣伝を見ると、いやな気持ちになる  
①かならずそうなる ②よくそうなる ③あまりそうならない ④ぜんぜんそうならない
14. 将来結婚するとしたら、タバコを吸わない人と結婚する  
①かならずそうする ②なるべくそうする ③あまりそうしない ④ぜんぜんそうしない

図4 タバコについての質問 削除した4項目

明が看護師により行われた後、演者が看護師からの質問に答える箇所である。原案は、演者個人の体験から受動喫煙の影響を語るものであった。しかし、校長より不適切との指摘があったため、この箇所は削除せざるを得なかった(図5)。

今後、受動喫煙防止教育をさらに充実するためには、教員と医療機関での共通認識の形成が最も重要ではないかと考える。生徒が家庭に学習プリントを持ち帰り、話し合った結果を学校で共有したり、生徒からの質問や受

「先生、これまでに副流煙やタバコを吸う人が吐き出す主流煙を吸う受動喫煙のある家で育ってきたお友達はどうすればよいのでしょうか？」  
「そうですね、実は、私の父は私が小学校4年生になるまで家の中でたばこを吸っていました。そのためか今思い返すと、私が小さい時は風邪をひきやすいとか、落ち着きがないとかいうことがあったかもしれません。大切なことは、これからはみなさんが、これから生まれてくる子どもたちに同じような思いをしないですむようにすること、みなさんが受動喫煙をさけることです」

「先生、これまでに受動喫煙のある家で育ってきたお友達には、どんなことをお伝えしたいですか？」  
「そうですね、大切なことは、これからはみなさんが、これから生まれてくる子どもたちに同じような思いをしないですむように、大人になってからもタバコを吸わないことと、受動喫煙をさけること、そして、自分の体の回復力を信じることです」

図5 第3回音声原稿：上が修正前、下が後

動喫煙に対する懸念や不安に迅速に対応したりするには、学校の理解や協力が欠かせない。今回の介入研究は病院主導ではあったが、校長や養護教諭を中心とした教員の意見を取り入れる形で再度実施することで、共通認識を形成する足がかりとなった。

#### 追記：

本学会での発表後、全10回を終了した。第7回以降の話の流れや内容を見直すために時間を割いた。毎回学校より手直しが入ったものの、ほぼ意図した内容で実施することができた。第7回でタバコの規制に関する世界保健機構枠組条約を紹介し、第8回でタバコの販売理由を説明した。第9回ではタバコのデザイン・広告・社会貢献活動を扱った。特に、第8回は前回に引き続き生徒からの関心が最も高いものであったので、真摯に応えるように努めた。ところが、今回も回収された回答より生徒の理解度に懸念が生じたため、生徒の感想を紹介するプリントを配布し理解を促した。

第9回目終了後、1校の校長より「社会的背景に触れ、国のあり方等に批判的な立場で言及する資料は公教育で採用するのは難しい」との意見があった。禁煙についての科学的根拠が確立し全世界的な取り組みのある中で、生徒が日本の困難な状況を把握する必要性や妥当性については、各学校や教員で認識が異なると予想されたため、このような反応はむしろ当然であった。それでも、このような意見を目の当たりにすると胸が痛んだ。

その後、第10回目の学級担任の報告で「このような大切なことを学べた生徒達は幸せです」とのコメントをいただき、少し痛みが和らぐ思いがした。

学校における受動喫煙防止教育のあり方については、受動喫煙防止のための政策勧告（世界保健機関2007年）や喫煙防止教育等の推進について（文部省通知1995年）などを基に議論を発展させていくことが重要だと痛感している。